圧密沈下の設計計算

粘性土・砂質土・泥炭地盤の圧密沈下量の計算を行います

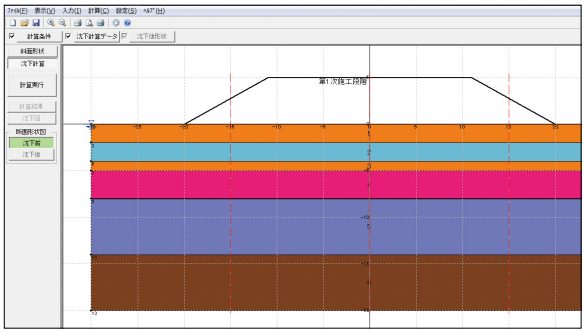
価格 **220,000円**（税込）

適用基準・参考文献

■道路土工軟弱地盤対策工指針（日本道路協会）
■設計要領 第一集 土工編（東・中・西日本高速道路株式会社）
■泥炭性軟弱地盤対策工マニュアル（独立行政法人土木研究所 寒地土木研究所）
■柔構造樋門設計の手引き（国土技術研究センター）

製品概要

本システムは、粘性土、砂質土、泥炭地盤の圧密沈下量の計算を行うプログラムです。粘性土の圧密沈下（e-logP法、mv法、Cc法）、即時沈下、残留沈下、側方変位の各計算を行います。各沈下計算（e-logP法、mv法、Cc法）及び施工段階ごとの沈下図、時間-沈下曲線を確認することができます。
また、圧密沈下後の安定計算も可能です。（※斜面の安定計算が必要です。）



データ連動

沈下後の安定計算を行うには「斜面の安定計算」が必要になります。
斜面の安定計算／斜面形状

機能詳細

計算

■「圧密沈下」、「即時沈下」、「残留沈下」、「側方変位」の各種沈下量の計算を行います。
■圧密沈下量計算は、「e-logP法」、「Cc法」、「mv法」から選択ができ、同時に3つ方法による計算も可能です。
■盛土の載荷方法は、「盛土として載荷」、「荷重強度qを直接載荷」の2種類から選択でき、同時に載荷させることも可能です。
■層区分として、「砂質土」、「粘性土両面排水」、「粘性土片面排水」、「泥炭層」、「非圧密層」から選択できます。
■盛土形状は、各施工段階ごとに設定できます。
■残留沈下量の計算方法は、「e-logP法」、「Cc法」、「mv法」から選択ができ、圧密時間計算方法として、「層厚換算法」「層別層厚換算法」から選択できます。
■3つの沈下計算による沈下図及び時間-沈下曲線図を表示させることができます。

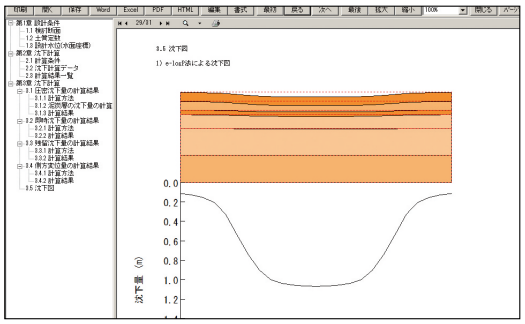
その他の機能

■サブスクリプションをご契約のユーザー様は出力帳票をMicrosoft Word、Microsoft Excel、PDF、HTML、Docuworksのファイルへ変換できます。

制約事項

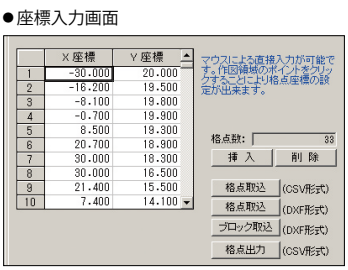
■圧密降伏応力（Pc）の考慮及び過圧密状態での沈下量の計算はできません。
■盛土の任意形状入力には対応しておりません。
■盛土上部に分布荷重等の任意荷重の設定はできません。
■プレロード荷重、先行荷重は考慮できません。

●印刷プレビュー画面

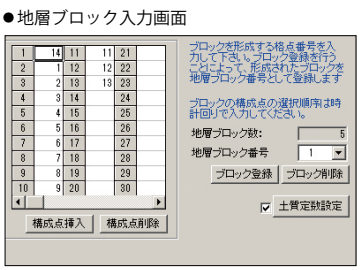


スクリーンショット

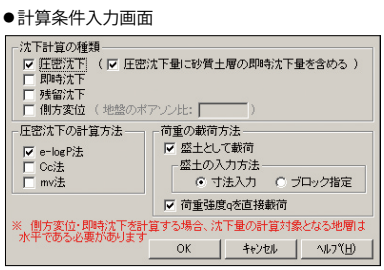
●座標入力画面



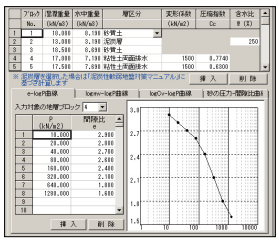
●地層ブロック入力画面



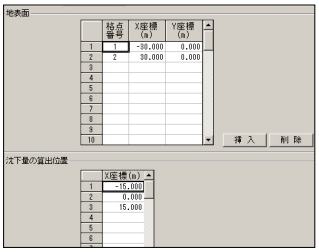
●計算条件入力画面



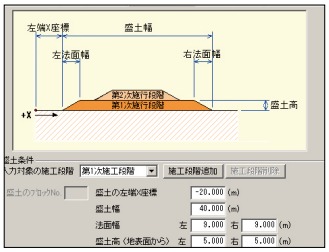
●土質定数入力画面



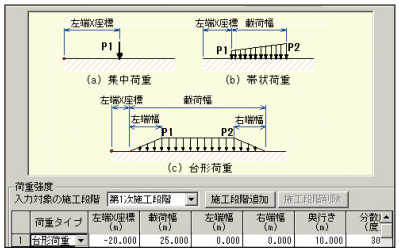
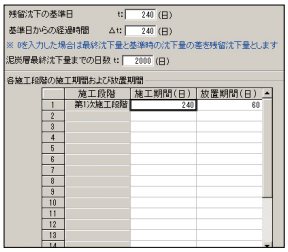
●計算位置入力画面



●盛土入力画面



●荷重入力画面



●残留沈下入力画面